

令和3年度法人本部事業計画書

(1) 現状と課題

新型コロナウイルスの感染リスクが常在し、社会活動があらゆる面で制約を受けている。このような中で運営せざるを得ない社会福祉事業に突きつけられている現状と課題は、少なくとも次の3点に集約されると思われる。

- 1) 感染症に圧伏される脅威と施設内感染防止
- 2) 介護・看護人材の慢性的不足と職員確保対策
- 3) 入所系・在宅系に共通する利用者・待機者減少と法人運営の継続性確保

感染症について、本法人は令和2年度に大分県コロナ対策支援金やJKACORONA緊急支援事業助成金を合計1,000万円余り受給し、マスク、消毒用アルコール、サーマルカメラなど衛生・防疫資材の確保に努めた。構築した衛生管理体制を揺るぎなく継続し、施設内感染防止に努めなければならない。

少子高齢化により職員の新規採用数の低迷が余儀なくされるなか職員の確保対策は、いよいよ喫緊の課題となっており、職員としての被採用意欲を喚起し、また、継続して長期間働き続けられるよう労働環境を改善し、定着率を高めることが必要となってきた。

利用者や入所待機者の減少は、訪問系・通所系・入所系に共通する課題となっている。「新しい日常」に即した各事業所の役割や機能の再検討と確認、サービスの質の向上や事業所独自の固有性発揮に向き合うことが求められている。特に、特別養護老人ホームとショートステイにおける利用者受け入れ制限による収益減を早期に解消する必要がある。

(2) 基本方針

令和3年度においては、事業運営の「安全・安心」を脅かす感染症や自然災害リスク、とりわけ新型コロナウイルス感染症に対する衛生管理体制を堅固に維持し、介護・看護人材の不足に対する多角的アプローチ、入所系サービスにおけるご利用者の受け入れ制限の早期解消や在宅系サービスの定員利用者確保に努める。

(3) 基本理念～3つの視点

1) 創設理念

「肉親をおもうところをそのままに永遠に捧げん情和の園に」

2) 経営理念

- 1 全てのことに魂をこめた対応
- 2 規律と統制のとれた対応
- 3 厳正を旨とした姿勢
- 4 無限の精進
- 5 慈愛のこころ

3) 令和3年度運営理念

[思いやるあなたの心を大切に]

差しのべる
その手その声
その笑顔

(4) 令和3年度重点方針

- 1 〈リスク管理〉新型コロナウイルス感染症や自然災害等のリスク管理に努める。
- 2 〈労働環境改善〉平成21年に大改正を行った就業規則や給与規則の大幅な見直しと改正を敢行し、併せて福利厚生制度の刷新を行って労働環境の改善を図る。
- 3 〈DX=デジタルトランスフォーメーション〉ホームページを刷新し、またSNSなどITを駆使した広報戦略等を強化し、法人の成長を促す。
- 4 〈選択される施設〉各事業所の自律性を高め、サービスの質の向上を図り、ご利用者から選ばれる施設を目指す。
- 5 〈施設整備〉法人傘下施設の建物や設備については、平成28年度「熊本・大分地震による災害復旧工事」から令和2年度「ショートステイ個室化工事」に至るまで5年間に亘り連綿と各種の大規模改修等に取り組んできた。継続して故障や機能不全等を早期に発見・把握し、適時適切に処理する。

(5) 理事会並びに評議員会の開催予定

愛泉会の経営主体たる理事会及び評議員会について、事業を計画的に推進し、よって民間社会福祉事業としての先駆性・独自性を発揮し、公平・公正な法人運営がなされるよう下記の予定を以て会議を開催する。但し、必要な場合は随時開催する。

- 1) 令和3年 5月 決算理事会（決算報告、次期評議員の推薦等）
- 2) " 6月 決算評議員会（決算報告、次期理事・監事の選任等）
- 3) " 6月 評議員選任・解任委員会開催（次期評議員の選任）
- 4) " 6月 理事会（理事長の選定等）
- 5) " 9月 補正理事会
- 6) " 12月 補正理事会・評議員会
- 7) 令和4年 3月 予算理事会・評議員会

(6) 監事監査の実施予定

関係法に準拠した事業運営を行うため法人機能を検証し、かつ地域ニーズを踏まえたサービス提供を確固とするため、次の通り監事による監査を実施する。
令和3年5月 決算監査

(7) 各事業所、及び委員会の事業計画書

別紙の通り。